



三谷結子先生（ソプラノ歌手）

三重県出身。武蔵野音楽大学声楽科卒業。読売新人演奏会をはじめ各種新人演奏会後ウィーンに留学。プライナー・コンセルバトワール声楽科を最優秀の成績で卒業。碓井士郎、及川槿、宮廷歌手ソーナ・ガザリアン、宮廷歌手レナーテ・ホルム、諸氏に師事。在学中にウィーンのユーゲントスティール劇場にグルック作曲「オルフェオとエウリディーチェ」の“アモーレ”役で出演。オーストリア・バーデン市立劇場のオーディション合格。レハール作曲「微笑みの国」の“ミー”役で本格デビュー。各方面より大好評を同劇場で、レハール作曲「ロシア皇太子」の主演“ソニア”に抜擢され好演、絶賛を浴びる。その後ヨーロッパ各地の劇場及びフェスティバルで、「微笑みの国」「ロシア皇太子」はもちろんのこと「メリーウィドウ」の“ヴァランシエンヌ”、「ジブシー男爵」

の“ザッフィー”「王様と私」の“レディー・チャン”etc.を客演。2001年にはウィーンカンマーオーパーにニコ・ロータ作曲のオペラ「フィレンツェの麦藁帽子」の“ラ・モディスタ”でデビュー。その夏には、ヨーロッパ最大の湖上フェスティバル・メルビッシュ湖上音楽祭で「微笑みの国」の“ミー”役に抜擢されヨーロッパ及び日本でその模様はテレビ放映され好評を得た。日本では2002年5月新国立劇場にツェラー作曲「小鳥売り」のヒロイン・クリステル役でデビュー。テレビ・新聞などに大きく取りあげられ、大成功を果たした。その他日本でもニューイヤークンサートなどで活躍の指揮者ウーヴェ・タイマー氏が監督するランゲンロイスオペレッタフェスティバルやバート・ハルオペレッタ音楽祭、ウィーンで行われているフェスティバル「ウィーンのおペレッタの夏」などに出演。又ウィンナーリート歌いとしても活躍しウィーンの種類イベント、コンサート、テレビ番組などに多数出演。チャリティー活動にも大変意欲的で「先天性表皮水疱症」の子供達のためのチャリティーや、SOS子供村（孤児院）でのチャリティーコンサート、生活難に苦しむ方々のためのチャリティー、及び2011年3月11日に起こりました東日本大震災のためのチャリティー活動などに貢献している。以来ヨーロッパ各地及び日本で、オペラ・オペレッタ・ガラコンサート、オラトリオのソロ、リサイタル、各種記念式典そしてテレビ・ラジオ出演と幅広く活躍している。オーストリア建国1000年記念祝賀コンサートにソリストとして出演（コンツェルトハウス）。JILA音楽コンクール声楽部門優勝。ニコ・ドスタル・コンクール受賞。ヨハン・シュトラウスコンクール入賞。ローベルト・シュトルツ協会より感謝状受与。現在舞台活動の傍らウィーン音楽大学で声楽科の教授としても活躍している。

2018年、舞台の傍らメンタルアカデミーヨーロッパにてメンタルトレーナーの資格を取得。音楽家はもちろん一般の方々の為のメンタルトレーナーとしても活動中。現在、ロマンティック劇場レギュラー出演中。

池沢由香子先生（ピアニスト）

大学在学中より伴奏活動を始め、演奏会・コンクール・放送等での伴奏は元より、ミュージカル「マイフェアレディ」「奇跡の人」のステージピアニストや、オペラ「魔笛」「ドン・ジョヴァンニ」「フィガロの結婚」「椿姫」「蝶々夫人」「ラ・ボエーム」「カルメン」等のコレペティトウアやプロンプを務める。2006年に東京にて初演され話題となった新作オペラに於いてもコレペティトウアを務めた。又、指揮法・オーケストラスコア・外国語・歌手の呼吸法・歌唱法などを学び、その幅広い知識に基づき「新国立劇場創立5周年記念オペラガラコンサート」、新国立劇場定期公演「トスカ」、日本フィル定期公演「つばめ（日本初演）」、錦織健プロデュースオペラ公演「セヴィリヤの理髪師」、佐藤しのぶ「リサイタルシリーズ」「モノオペラ“電話”」等の字幕制作・公演字幕指揮も行う。大物音楽家からの信頼も厚く、そのレッスンアシスタントも長年務めており、若手音楽家を数多く育てている。又、二期会や藤原歌劇団メンバーとの共演も多く、これ迄に数々のコンサートや音楽祭等のプロデュースも手掛けている。